

# 年頭のごあいさつ

鞍手町長 岡崎邦博

新年あけましておめでとございませう。町民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

早いもので町民の皆様から負託を受け、町政に携わらせていただいて丸2年が過ぎました。この間、町長としての重責を感じつつも町行政の推進に努めて参りました。町民の皆様には温かいご支援とご理解、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、令和になって初めてのお正月を穏やかに迎え、良い年になるのではと思っておりますが、新型コロナウイルス感染症が瞬く間に世界中に拡がり、日本においても例外ではなく3月2日からの小中高校一斉の臨時休業、4月7日には緊急事態宣

現在でも3名の感染者で留まっております。町長として衷心より感謝申し上げますとともに、今後も引き続き国が示している新しい生活様式を取り入れ、感染防止対策をお願いするところとさせていただきます。

しかしながら、世界中では感染者が七千万人を超え、日本国内においても20万人に迫る勢いです。第3波の襲来ともいわれ、未だに増え続ける感染者に対し、自らの命の危険も顧みず、医療現場で従事されている医師をはじめ看護師や医療従事者の皆様方には心より敬意を表しますとともに感謝申し上げます。同時に医療従事者皆様方の安全と1日も早い感染の終息を願うばかりでございます。

新型コロナウイルスとの戦いは、まだ先が見通せないところではありますが、

の5年間の後期基本計画を新たに策定しました。

また、今回の策定により初めて本町における国土強靱化地域計画を盛り込みました。東日本

大震災以降、熊本地震や毎年のように九州各地で大規模な災害が発生しています。今後も気候変動に伴う台風の大型化や短時間集中豪雨などの発生が懸念されます。このような状況を踏まえ、防災・減災等の観点から総合計画と一体的に策定し、町民の皆様とともに持続可能なまちづくりに取り組んで参ります。

ところで、今年の大きな楽しみみの1つに東京オリンピックがあります。世界各

## 謹んで新年のご祝詞を申し上げます

令和3年元旦

言が発令されたことで、不要不急の外出自粛要請や公共施設等の使用中止の措置を取ることであり、町民の皆様には大変なご心配とご不便をおかけしました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、皆様が楽しみにされていた町民体育祭や公民館まつり、町美術展や元氣まつりなど、鞍手町で開催される主なイベントはほぼ全て中止せざるを得なくなりました。本年は感染拡大防止対策を講じながら、できる限り事業を実施して参りたいと思っております。

新型コロナウイルスで明け暮れた1年だったように思いますが、日ごろより町民の皆様お一人おひとりが危機意識を持っていただき、感染拡大防止に向けてのご理解とご協力のおかげで、本町では

本年秋季にはくらくらて病院が新築移転し開院いたします。鞍手町民のみならず周辺地域の住民の命と健康を守る中核病院として、質の高い医療・介護サービスが提供できる体制が整います。同時に「医療」「介護」「予防」「住まい」「生活支援」など高齢者の方が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けていただけるよう、地域包括ケアシステムの核として安全安心なまちづくりにつながることを思っています。

昨年、第5次鞍手町総合計画策定から4年が経過したため、社会情勢の変化、町民のニーズ、町の課題などから、SDGs（持続可能な発展目標）の考え方を踏まえた見直しを行い、持続するまちづくりを進めるため二〇二〇年から二〇二四年まで

国での新型コロナウイルスの感染状況によつては、開催自体が危ぶまれる恐れもありますが、何とか開催されることを祈るばかりです。

「ウィズ・コロナ」ということで新型コロナウイルスとの付き合いは続くかもしれませんが、町民の皆様が直接参加できる開かれた町政の実現を目指し、町民の皆様とともに知恵を出し合えるまちづくりを進めて参ります。小さくても心豊かで幸福度、満足度が高く、自信と誇りの持てる町の実現のため、精一杯努力し邁進して参りますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

終わりに、新しい年が町民の皆様にとつて飛躍の年となりますよう祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

